

社会貢献・ボランティア活動

		活動内容
さいかち学級 (対象:小学生)		さいかち学級は、昭和大学病院に入院している小学生を対象とした品川区立清水台小学校の院内学級です(さいかち:清水台小学校と昭和大学病院の前を通る中原街道には昔、道の両側に「槐(さいかち)」の木が植えられ、「さいかち坂」と呼ばれていました。)。長期の入院加療(予定を含む)を必要とし、担当医師の許可がある小学生でしたら、お住まいの地域を問わず入級が可能です。さいかち学級では、月曜日から金曜日までの毎日、子どもたちの健康状態に合わせて授業を行います。そして一人ひとりの学習速度に合わせて、国語や算数を中心に、理科・社会・音楽・図工・家庭科などの学習も行っています。病棟スタッフと連絡を密に取り、子どもたち一人ひとりの病状に無理のないように、先生と楽しく学習を進めています。
外科医の模擬体験 (対象:小中学生)		大学を身近に感じ、病院の仕事に興味を持っていただくために、消化器・一般外科教員(医師)協力のもと、『外科医の仕事体験』として、小中学生を対象とした「ブラックジャックセミナー(外科手術体験)」を行っています。参加者は全員術衣に着替え、5つのブースで鏡視下手術(内視鏡を使いモニターを見ながらの模擬手術)、鶏肉を使った超音波メス体験、縫合などを行います。各ブースで指導した外科の教員(医師)達も、実際の手術時の様子、匂い、感触など織り交ぜながら指導を行い、セミナー終了後は参加者全員に修了証を授与するなど、参加者に好評を得ています。(2022年度はコロナ渦のため中止)
登山者向け診療所	白馬診療部	昭和大学白馬診療部は、夏期に北アルプスの白馬岳山頂にある白馬山荘と村営頂上宿舎で診療所を開設しています。白馬岳は大雪渓と花畑が美しい山で、初級者向きとされ、多い日には1000人以上の登山客が訪れます。しかし、3000m級の山なので高山病や落石、滑落などの危険があります。白馬診療部は、昭和6年に始まり、長年にわたり、昭和大学の教員(医師)と学生を中心にボランティアで診療活動を行っています。高山病の治療、怪我に対する応急処置のみならず、夏山での健康管理の指導も行っています。期間は7月初旬から8月中旬の約5週間で、主に医学部の学生がOB・OGの教員(医師)のもとで診療活動の補助をしながら運営しており、夏山には欠かせない存在となっています。
	北岳診療部	北岳診療部は、医学部と看護専門学校の学生がボランティアで教員(医師)と共に、南アルプスの北岳(3193 m)の山頂近くの診療所で、夏休みを中心に登山者の診療を行っています。患者数は毎年200名程(多くは高山病)で、学生は積極的に診察を補助し、登山客が安心して登山する手助けをしています。年に数回、遭難者の救急処置のサポートも行い、これらの活動に対して平成23年8月に南アルプス警察署から表彰を受け、メディアでも紹介されました。また、日本高山植物保護協会の支部として、高山植物保護の啓蒙活動も開始しました。このように、北岳診療部は山岳医療と自然保護の両面で社会に貢献する活動を積極的に行っています。平成27年5月には、南アルプス国立公園関係功労者特別表彰を受賞しました。
旗一祭禮		旗の台一丁目町会の祭禮は、荏原町駅近くにある旗岡八幡神社で毎年9月の第2土曜日・日曜日に行われる例大祭に合わせて行われるもので、旗の台町会でも一斉に神輿を担ぎ地域の安全を祈願しています。本学職員・学生も地域貢献の一貫として、この祭禮に参加しています。学生たちは威勢よくかけ声をあげながら、若さ溢れる担ぎ姿を披露するとともに地域の方々と交流を深めています。(2022年度はコロナ渦のため中止)
旗一忘年・防災餅つき大会		旗一忘年・防災餅つき大会は、旗の台一丁目町会として防災意識の高揚と炊き出し訓練を目的とした行事です。町会の方々のご尽力によって築かれた親睦の和の拡大、地域への貢献のため、本学職員・学生も毎年参加をしています。地域の方々と交流を図る貴重な機会となっています。(2022年度はコロナ渦のため中止)
旗ヶ岡ニコニコファミリーフェスティバル		“食・おもてなし・もったいないの街”旗ヶ岡商店会が主催する、春恒例のお祭りです。旗ヶ岡子育て地蔵尊の法要祭、フリーマーケット、地元グループなどによる路上ライブ、スタンプラリー、ビンゴ大会などが行われます。本学学生は「遊びの広場」にて地域の子どもたちのお絵かき、けん玉遊びの手伝いをし、交流を図っています。(2022年度はコロナ渦のため中止)

しながわ大学連携 推進協議会	「しながわ大学連携推進協議会」は、平成29年2月に品川区が区内の各大学との更に幅広い分野で連携の拡充、そして大学間の連携を深めることを目的として設立されました。本協議会には、清泉女子大学、星薬科大学、立正大学、本学が参加し、定例的な活動を行うほか、社会貢献活動等に関する情報発信・交換を行いながら、各大学が環境・教育・福祉・地域活動など、さまざまな分野において社会貢献活動を進めています。本学学生は学生によるディスカッションに定期的に参加し、毎年5月に開催される「しながわECOフェスティバル」に昭和大学のPR活動のため、出展しています。(2022年度はコロナ渦のため中止)
富士山登山道清掃活動	毎年5月富士吉田ロータリークラブと共同で富士山吉田口登山道 中の茶屋から恩賜林公園までの約4kmにわたって道路や登山道の清掃活動を行っています。(2022年度はコロナ渦のため中止)
ふじざくら夏祭り	山梨県立ふじざくら支援学校のPTAが中心となり、運営準備を進め保護者間の親睦を深めながら、在校生や卒業生の余暇活動の充実を図り、地域ボランティアの協力を得ることで、障害児への地域の理解を広めることを目的に行われています。学生の活動内容としては、いくつかの教室に分かれて「紐くじ」、「ヨーヨーつり」、「うちわお絵かき」、「ボウリング・ストラックアウト」、「ボールプール・エアトランポリン」の手伝いをしています。(2022年度はコロナ渦のため中止)
よいこの花火大会	よいこの花火大会は月江寺地域のまちおこしを目的として行われているものです。内容としては、会場の一角で富士五湖消防本部が実施する「けしまる君」乗車体験、蘇生人形を使った救命処置のデモ、消火器を使った的あてゲームのお手伝いです。特に救命処置のデモは消防本部職員によるサポートの下に学生が一般市民に指導しています。(2022年度はコロナ渦のため中止)
ありんこ祭り	障害福祉サービス事業所「ありんこ」にて、本学学生ボランティアによる飲食の出店や喫茶コーナーでの販売、ゲームコーナーでの接客、ストレスチェックコーナーでの対応など、施設利用者さんと一緒に活動を行っています。この祭りのボランティアには、近隣の大学生、専門学校生、高校生なども多く参加しており、地域の若者の力が大きな役割を担っています。(2022年度はコロナ渦のため中止)
Mt.Fuji ジャズフェスティバル	Mt.Fuji ジャズフェスティバルは「世界共通語である音楽を通じ、町民同士の交流を図り、やがて富士河口湖を世界にまで発信するJAZZTOWNに」をコンセプトとしています。活動内容は演奏会場の受付、賄い食の提供、飲み物の販売等を行っています。(2022年度はコロナ渦のため中止)
収穫体験	富士吉田市内の幼稚園児が自然教育園での野菜収穫を経験する行事です。これは土の感触、野菜の成長、収穫の喜びなどを体験し豊かな感性を育てることを目的に実施されているもので、自然教育園では場所を提供するとともに、課外活動支援室の職員をはじめとする職員が収穫方法の指導をおこなっています。
公開講座	<p>昭和大学では、大学における教育や研究を社会に開放し、文化の向上と保健医療の推進を目指して地方自治体と協力し、公開講座を行っています。本学の公開講座は「暮らしと健康」をテーマとし、昭和大学および各附属施設でも開催しています。講演内容は、生活習慣病、がん、歯の健康から身体のエクササイズ、認知症まで多種多様で、いずれもみなさんの生活にお役立てできるようなテーマを揃えています。教員や現職の医療従事者(医師・看護師・歯科医師・薬剤師など)が講演を行うということも、大きな魅力のひとつです。</p> <p>【令和4年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旗の台キャンパス 開催回数2回(WEB開催) ・横浜キャンパス 開催回数2回(WEB開催) ・富士吉田キャンパス 開催回数2回(ケーブルテレビ放送1回、対面講座開催1回) ・歯科病院 開催回数:1回(対面講座開催) ・藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院 開催回数2回(WEB開催) ・横浜市北部病院 開催回数2回(WEB開催) ・江東豊洲病院 開催回数2回(WEB開催) ・烏山病院 開催回数2回(対面講座開催2回) ・全8施設 全開催回数15回(うちWEB開催およびケーブルテレビ放送での開催11回) <p>全参加人数合計:209名(WEB開催除く)</p>

<p>第二延山小学校・ 清水台小学校 校外授業</p>	<p>第二延山小学校・清水台小学校校外授業は、品川区がキャリア教育の一つとして行っている市民科「その道の達人に学ぶ～昭和大学体験学習～」として行っているもので、本学の教育職員が第二延山小学校5年生を対象に校外授業を行います。この取り組みは、平成24年度から本学と第二延山小学校の地域連携によりスタートしました。平成29年度からは、清水台小学校6年生の生徒も参加し合同で開催しています。校外授業では医療系総合大学の特色を活かし、「内視鏡シミュレーション」、「口の構造と機能を知る」、「薬剤師の仕事」、「赤ちゃん（人形）を抱く」など医療分野ごとにテーマを分けて実習形式の授業を行います。その他にも、「命」をテーマにした講義やワークショップなど充実したプログラムとなっています。参加した児童からは「これから自分ができることは何か。私は今まで育ててくれた家族、支えてくれた人に感謝し、恩返しをしたい。そして今度は私が誰かを支えたいです。」等の感想文が寄せられるなど、児童からもとても好評です。</p> <p>コロナ禍においては、本学の教育職員を派遣し、児童に医療に携わる職業について講演を行っています。令和4年度は医療に携わる職業紹介のほかに、「自分も相手も大切にすることをかかわり」「いのちの授業」と題して、特別講演を実施しました。</p>
-------------------------------------	---

※上記の内容は一部です。この他にもボランティア活動等を通じて多数の社会・地域貢献を行っています。